

感謝「老人クラブ」社会奉仕活動

敬老されるべき老人クラブの方々による社会奉仕活動「道路清掃」

9月21日は敬老の日、高齢者への敬意を表す祝日です。その前日の20日、八方原自治会の老人クラブが「社会奉仕の日」の活動として生活道路の清掃を行いました。この活動は毎年行われていますが、

その丁寧な仕事ぶりは毎回驚かされます。



八方原の環境を守る会では、この作業を農地隣接通路の維持管理作業と捉えています。

今回は26名の参加者がありました。みなさまのおかげで、道路が見違えるようになりました。ありがとうございました。ありがとうございます。

現在日本の高齢化率（65歳以上）

上の人口が全体の中で占める割合は28・7%で、2位のイタリア23・3%、3位のポルトガル22・8%を大きく引き離して世界最高です。このうち25%の人が何らかの形で就業しておられるとのことです。

高齢化が進んでいるということは、一般的に社会の力が失われつつあるというマイナスのイメージで捉えられが

台風10号の風でタンクが



水路の中に落下していた集積タンク

9月6日から7日にかけて、九州西岸を北上した台風10号は、山口県にも強い風をもたらしました。

7日の夜中から早朝にかけての、強い風に眠れない夜を過ごされた方も少なくないと思います。幸い、雨はほとんど降らず、豪雨を警戒していた私たちには少し驚きでした。

幸い、この地域では大きな被害はありませんでしたが、ところどころに爪痕がありました。

上の写真は1班の、燃やせるもの用の収集タンクです。風で傍の水路に落ちてしまいました。藤田賢二さんが、引き揚げてくださいました。



作業を終えて、お互いの労をねぎらう参加者

ちですが、それだけ長生きできる環境であるともいえます。



農業用水路は、大雨の予想されるような場合など、状況に応じて樋門の開閉を行います。圃場に十分に水があり、水路の水位が急に下がったときに、水路壁面に（接続部分）の異常が確認できます。

普段では分からないことが

台風前に急いで刈り取り作業

9月4日、早生品種の稲刈りが始まりました。台風が相次いで接近して、倒伏した稲に追い打ちをかけられる前に、早めに刈り取りをされたのでしよう。今回は「保有米」自家消費の分だということです。各地でウンカの被害が報道されています。田んぼの稲が全滅というところもあるようです。様々な原因で、害虫の異常発生が起きるようです。農業は天候にも左右されますし、国の政策にも大きな影響を受けます。易しい仕事ではありません。



大型のコンバインが走り回っての収穫作業

自治会敬老会も感染予防のあおり

八方原自治会「敬老会」は9月20日に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症予防のために、従来のような食事をしないことになりました。代わりに記念の品物を送り、楽しんでいただくことになりました。山口市の敬老会と自治会の敬老会は少し対象となる年齢にずれがあります。市は満年齢、自治会は「数え」と考えていただければ良いと思います。

今回自治会の敬老会に新たに招待する方々は昭和26年生まれの方です。石田義博さん、杉山静子さん、田外敏子さん、原田美佐子さんが該当されます。自治会によりますと、敬老対象者は75名になるようですが、自治会内にお住まいの方に限定するの60数名の方にそれぞれ記念の品が届けられました。おめでとうございませぬ。

中郷八幡の秋の例祭に向けての準備



参道の間部分、灯籠のある部分が自治会の受け持ち

9月13日、中郷八幡の八方原地区の受け持ち部分の清掃作業を行いました。秋の例祭への準備です。19日秋の例祭が行われ、今回は新型コロナウイルス感染症予防のために、神輿の巡行を省略し、拝殿での神事となりました。



稲わらの不要部分の除去

この例祭に向けて、地区総代を中心にして8月から、稲わらの準備や、しめ縄作りを行いました。



しめ縄の前垂れの作成

藁の不要部分をを取り除く作業、藁を小さな束にする作業、その束を集めて縄をなう作業、そして、それぞれの古いしめ縄を取り除き、新しいものに交換しました。



しめ縄の取り付け

こうした作業を手分けして行うことが、様々な伝承の場にもなりません。